

松田光平 後援会 NEWS

1 安全な千曲川・聖川・岡田川の早期実現 篠ノ井の安心 を造る

- 堤防嵩上げ、河川の浚渫、遊水池の確保など地域要望を実現します。

令和元年の台風災害で千曲川・岡田川・聖川の安全確保は篠ノ井住民の願いであります。一級河川の管理は国であり、国会で確りと治水予算の確保を強く要望し、住民の安全を守ってまいります。



台風災害で越水した塩崎地区の堤防修復嵩上げ完了



安全な千曲川・岡田川・聖川。篠ノ井を守ります。



2 産業の振興・農業を含むすべての産業振興と新規産業創業支援

長野市の産業構造

長野市の産業は、第一次産業である農業、工業（製造業、土木、建築など）、観光業、商業などがバランスよく発展しています。



人は財産であり、地域の宝です。

新産業創造・新規起業支援

スマートシティコミッション推進

利便性・快適性・安全性の向上を目指す



バイオマス推進

バイオマスの利用活用
バイオディーゼル燃料の開発
航空機燃料（SAF）の開発



宇宙産業

人工衛星データを利用する
新ビジネス創出

全ての産業の振興



長野市の未来産業を創造

全ての産業振興が不可欠です

3 こども子育て支援

育児休暇を取得しやすい環境を作り休暇中は保育ママ制度などを充実させ子育て支援を図るとともに、職場に復帰した後も企業内保育やリカレント教育制度でスキルアップを支援することで、子供を産み育てる長期間の子育て環境をシームレスで実現いたします。

● ため保育園、幼稚園、認定こども園の職員の処遇改善

令和3年政府が月額9,000円の処遇改善実施、全ての園への支援を求めます。園児数で基準対応に追われる事の無いように国から市への一括交付を要望いたします。

● 保育ママ、企業内保育など多様な地域型保育の充実

多様な保育、子育ての在り方を支援するため、保育ママの人財情報の収集公開を図ります。企業内保育など地域型保育を充実し、第二子、第三子の養育環境を整えてまいります。

● パウチャー導入を目指します

教育パウチャーの導入で各児童に最適な進学の多様性を支援してまいります。教育パウチャーを参考に、子育てパウチャーで多様な子育てを支援します。

● リカレント教育制度の充実で 子育て後 の就労支援を行います

首相は、育児休暇中リカレント教育を支援と発言し避難をされたが育児休暇後には大切な制度。充実いたします。リスキリング、リカレントを企業だけではなく、専門学校などの成人講座が利用しやすいパウチャー制度を提案します。



再就職、職場復帰するときのために、知識を深めてスキルアップ。子どもを産んで育てるための充実した環境が必要と考えます。



あふれる情熱
まちに活力



後援会 会長 中嶋 君忠

〒388-8006 長野市篠ノ井御幣川 1222-2

TEL 290-5525 FAX 290-5526

✉ kouhei@myad.jp

✂ kouhei_m5/



QRコード
HP用

松田こうへい 検索

4

議会改革 ● 議員定年 73歳! ● 議会デジタル改革!

● 議員定年73歳!
国会議員(参議院定年73歳)。
地方議員にも定年を導入すべき。
公務員や企業の定年が65歳 高齢化社会で高齢者の知見も必要(住民自治協議会と協働)
若い世代が時代を担う! 次世代の自治は若い世代で作る。長野の未来を若い世代に託す。
行政出身の議員は即戦力であるが、前例踏襲の思考が未来の可能性を狭める。
災害時は自身の安全を確保が必須。災害最前線での活動を鑑みれば73歳定年が妥当。

● 議会デジタル改革
ペーパレス化の推進
16年前 初当選次代の公約の一つ
分厚い議案書・書類 → 電子書庫に格納 議場で必要な時に閲覧
議会への出席義務 → 災害時などオンライン会議可能な条例制定

● デジタル改革
必要な業務の仕分け。
業務のデジタル化。
行政視察を改革 → オンライン化、必要な部分のみ現地集合し現地調査
リテラシーの向上 → 議員のネットリテラシーの向上。ネット上での発信制限(市民の権利を守る)
DXを主導する議員 → DX知識の集積と、柔軟な思考が不可欠



システムエンジニア出身の私にお任せ!

5

令和5年1月 長野市は ワイン・シードル特区を取得。



有旅ワイナリー 株式会社 開業

篠ノ井に
長野市初のワイナリー
たのしみです!



長野市注目の新名所
篠ノ井信里に誕生!

有旅ワイナリーの生産する
Signature K (シャルドネ)
2023年 GI マークを取得

※ 登録標準(GIマーク) 登録された産品の地理的表示と併せて付すもので、産品の確立した特性と地域との結び付きが見られる真正な地理的表示産品であることを証明しております。

長野市のワイン用葡萄生産支援の経緯

- ワイン葡萄の生産は、荒廃遊休農地の有効利用、新規就農に期待
- 長野市 平成27年度にワイン用ぶどう産地形成事業を創設
- 七二会、信州新町、信更町などで、若いワイン用ブドウ生産に新規就農
- 令和1年頃から、ワイン葡萄が成木となり収穫が始まる
- 令和2年 キラリ信更ワインが販売開始
- 令和4年 委員会でワイン葡萄農家視察 ワイン特区取得を要望
- 令和5年 ワイン・シードル特区認定 11月長野市初の有旅ワイナリー誕生
- ワイン用ぶどう産地形成事業(長野市の中山間地域政策)
- 苗木の購入、棚の設置に補助。30年度に長野市ワイン用ぶどう研究会を立ち上げ、長野農業農村支援センターの協力を得て、ワインブドウ生産者に栽培技術の指導や技術的な支援のほか、ワイン市場の現状を学ぶ場を提供。

● ワイン特区とは

構造改革特別区域法で規定する特産酒類に係る製造事業の構造改革特別区域で、酒税法で定める最低製造数量基準が年間6キロリットルから2キロリットルに緩和される。



6

DX 誰もが簡単・便利に使える デジタル改革

DX とは 文書等のデジタル化 だけではなく
効率的に業務改革 を行い 市民が簡単・便利 に使う

IT・スマホ操作など、
市役所定年も65歳に順次引き上、
退職後数年間支所などで IT相談室で
市民に教えてもらうことも必要だと
感じます。誰もが便利に使える
社会にしたい。



イメージ
解らない・怖い・危ない
壊れる・難しい・詐欺被害

電子申請

給付申請が
出来た!



自宅で...

手続き完了!

すごく簡単



出先で...

画像: 長野市 https://www.city.nagahama.lg.jp/000001/07_73.html

必要な時に必要な情報を引き出せ利用できる
ユビキタス社会の構築

デジタル人材確保と組織の効率的配置

市民のデジタル化の為に、分かる・出来る対応が必要